

ゆのまえ 議会だより



No. 41
令和5年
2月15日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する



学習の成果を町政に活かす



P2 特集 夢や希望を織り交ぜた提案

P4 議会の窓 新議長就任で議会構成を一部変更

P6 本会議 物価高騰に追い打ち

P10 一般質問 4人が執行部の考えを質す

P15 全員協議会 課題が多い中学校部活動の地域移行

P16 委員会 障がい者に優しい町を目指して

P18 議員派遣 初の行政視察研修の受け入れ

P20 住民の声

今号の写真

第6回子ども議会の様子です。昨年につづき、マスク着用やパーティション設置など、新型コロナウイルス対策に万全を期したなかで、成人間近の中学3年生議員が一般質問を行いました。

特集(2~3ページ)につづく・・・

特集

第6回子ども議会

夢や希望を織り交ぜた提案

班ごとに学習成果を発表

湯前町の「子ども議会」が12月20日に町議会議場で開かれました。湯前中学校3年生が議員の立場で、班ごとにテーマを定めて質問しました。

子ども議会は、議会改革の一環として平成29年度から開いており、今回で6回目の開催となりました。これまでたくさんの「まちづくり提案」が示され、すでに事業化されたものもあります。

町執行部からは、長谷町長や中村教育長、各課の課長らが出席し、倉本議長が議事を進行了ました。町議会と同じ方法で子ども議員が発言し、議員・教職員がこれを傍聴しました。



31人の子ども議員

質問内容

【1班】命を守る安全のまちづくり(グリーンパレスの遊具、学校周辺の危険箇所、空き地)

- ①グリーンパレスの遊具を増やしてはどうか。
- ②危険な欄干(らんかん)のない橋は、安全対策をしてはどうか。
- ③パチンコ店跡地の景観が悪いので、きれいにするよう対策をしてはどうか。

【2班】地域をつなぐ人づくり(中学校施設)

- ①学校のトイレをすべて洋式にしてはどうか。
- ②チョークの弊害を考えて、黒板ではなくホワイトボードの貼るタイプに変えてはどうか。

【3班】ささえ愛で心温まる福祉づくり(児童福祉、ひとり親福祉、高齢者福祉)

- ①「子育て世帯の孤立防止や児童虐待に対する相談窓口の連携体制を強化」とは、具体的にどんなことをしているのか。
- ②ひとり親福祉の目標値で「自立または改善につなげた世帯数が現状0件」とあるが、改善すべき事例がないのか、世帯がないのか。
- ③他県でランドセルを贈る取り組みがあるので、湯前町でも行ってはどうか。
- ④湯前町の高齢者のうち、独居老人の割合はどのくらいか。(平成27年以降)

- ⑤湯前町の高齢者のうち、町の健康増進の取り組みに参加している割合はどれくらいか。
- ⑥少子高齢化が進んでいる中、健康面を心配すべき独居老人に対する取り組みは何をしているのか。
- ⑦独居老人の家に見守りセンサーや緊急通報装置などを設置してはどうか。

【4班】命を守る安心安全のまちづくり(街灯)

- ①2017年の子ども議会で街灯を増やしてほしいと提案しているが、それから街灯は増えているのか。
- ②小中学生の下校時、暗いところに街灯を設置してはどうか。
- ③カーブミラーを今後増やす予定はあるか。
- ④作物や建物で死角になっているところにカーブミラーを設置してはどうか。

【5班】次世代につなぐ持続可能な産業づくり(観光)

- ①観光の振興の基本方針に「地域観光のブランド力を高める」とあるが、ブランド力を高めるための地域資源とは、具体的に何か。

- ②湯前町の自然を活用してはどうか。
- ③「イベントを通して町の観光資源や魅力を効果的に発信する」とあるが、ホームページ以外でどのように宣伝しているか。
- ④インスタグラムをもっと活用してはどうか。

【6班】次世代につなぐ持続可能な産業づくりと福祉(若者流出防止、U I Jターン、子育て情報のSNS発信、ホームページ)

- ①湯前町の現状課題を解決する目的「はたらく場所の創出」は、具体的に何をしているのか。
- ②高校から大学などへ進学した人が湯前町にもどってくるような仕組みづくりは、何かやっているのか。
- ③湯前町の補助金などの子育て支援はかなり充実しているが、そのことをどのように発信しているか。
- ④ホームページで子育て支援の補助金などをさらにわかりやすく発信してはどうか。



子ども議会の講評では、新川校長から「町や地域の問題にどう主体的にかかわっていくかを常に感じながら、自分自身に責任を持ち、成長してほしい」とのお言葉がありました。

特集に関する住民(生徒)の声は20ページを参照

議長の窓

新議長就任で議会構成を一部変更

1月20日の臨時議会において、倉本議員が一身上の都合で議長を辞職されたため、議長と副議長の選挙が行われました。選挙の結果、第29代議長に金子光喜議員、副議長に椎葉弘樹議員が当選しました。また、委員会の互選により、総務厚生文教常任委員会委員長に西靖邦議員が選ばれました。これに伴い、議会構成を一部変更しました。

【議長】金子光喜

伝統ある湯前町議会の第29代議長に就任しました。これまでの在任期間中、経済建設副委員長、厚生文教委員長、副議長など、さまざまな立場で多くの経験をさせていただきました。重要課題が山積している昨今、執行部の奮闘と併せて、議会の役割も益々重要になっていると認識しています。町政発展と町民の幸福のために、全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げます。執行部の皆さま、町民の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



【副議長】椎葉弘樹

これまで10年間の議員経験を活かして、議会に新しい風を吹かせるため、これまでとは異なる役割を目指すことにしました。副議長として、議長を支え、町の発展や町民幸福度の向上のため、更なる努力を重ねてまいります。議長と副議長は共に50代。人吉球磨では、最も若いコンビです。皆さま方のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

【総務厚生文教常任委員長】西靖邦

委員長という大役を担うことになり、責任の重さを痛感しています。委員各位のご指導をいただきながら、誠心誠意、努力する所存です。皆さま方には、より一層のご指導とご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

【お詫びと訂正】ゆのまえ議会だより No.40 のお詫びと訂正

令和4年11月15日に発行しました「ゆのまえ議会だより No.40」の記載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。なお、町ホームページ上の「ゆのまえ議会だより No.40」は、正しい内容に訂正済みです。

(訂正内容) 7ページ「その他の議案」2段目
 工事請負契約の締結 (デジタル同報無線システム)
 (誤) 随意契約 → (正) 指名競争入札

倉本 豊(前議長)の退任挨拶



平成30年1月から第27代議長、令和2年11月から第28代議長に就任し、5年間議長を務めました。議長の職責を務める中、徐々に自分の考え方が変わってきました。当初は執行機関のチェック、監視をするという考え方が大きかった様に思います。しかし、「議会や議員は誰のためにあるのか」ということを改めて考えたときに、町民のため、町民皆さまが幸せになることが最上位にあるべきと、改めて感じました。結果が「町民ファースト」でありました。この事は町長始め執行部も同じであると思います。

これから新議長に協力し、1議員として町民の幸せ向上のために全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げます。皆さま方のこれまでのご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも一層の御指導、御鞭撻をお願いいたします。誠にありがとうございました。

議 会 事 務 局 の 窓

議会構成の変更点

役 職	旧	新
議長	倉本 豊	金子 光喜
副議長	金子 光喜	椎葉 弘樹
議会運営委員	金子 光喜	西 靖邦
総務厚生文教常任委員長	椎葉 弘樹	西 靖邦
公立多良木病院企業団議会議員	金子 光喜	※次の本会議で選出
議会改革調査特別委員長	金子 光喜	椎葉 弘樹

議会スケジュール【1月～3月】

活動内容	日程(予定)	対応者
二十歳を祝う会	1/4	倉本、椎葉
出初式	1/5	倉本
議会広報調査特別委員会	1/6 企画会議 1/16 編集会議	広報委員
郡議長会	1/12 2/9	倉本、金子
地元選出国会議員への要望活動	2/14～15(東京)	金子、椎葉、遠坂
球磨郡町村議会議員研修会	2/17	全議員
上球磨町村議会議員研修会	2/8	全議員
常任委員会	2/16 総務厚生文教 2/10 企画経済建設	全議員
本会議	1/20 臨時会 3/8～17 定例会	全議員
議会全員協議会	1/30 2/24 3/27	全議員

物価高騰に追い打ち

台風被害など総額3億円弱

12月定例会は、8日から14日まで7日間の日程で開かれました。議員4人が一般質問を行い、令和4年度補正予算、条例改正などを審議しました。また10月28日に臨時会を開いています。歳入歳出予算の総額は、2億9308万4000円を追加し、51億9169万8000円となりました。

補正予算

台風14号被害の専決処分

3323万6000円

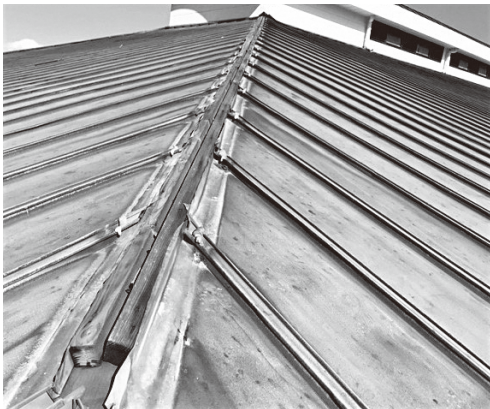
去る9月19日に九州を直撃した台風14号により、本町の公共施設や道路・河川・農業用施設などにも、大きな被害が出ました。早急に機能の回復を図るため、被害に係る補正予算を専決処分としました。

教えて ゆっくん

専決処分って何？

条例や予算は、議会の議決が必要だけど、時間的に議会の開会を待てない緊急の場合などに、町長が議会に代わり決定することだよ。

※地方自治法(179条)



農村環境改善センターの屋根破損



高齢者生活福祉センター屋外運動場の屋根破損

専決処分による主な被災箇所

- 高齢者生活福祉センター屋外運動場屋根 300万円
- 農村環境改善センター等修繕料 150万円
- 小中学校修繕料 140万円
- 農業用施設災害復旧費・修繕料 1500万円
- 町営住宅修繕料 150万円
- 町営住宅解体工事 200万円
- 河川災害復旧費・応急修繕料 250万円
- 道路橋りょう災害復旧費・応急修繕料 300万円



上京手住宅の破損(野中田3)

※老朽化で再利用の見込みがないため解体

台風14号被害の補正 対応

農地・農業用施設の 災害復旧工事①

1350万円

◎農地災害3地区(馬返・向田・上堀田)の測量設計業務委託料です。

◎馬場から瀬戸口の幸野溝までの排水路に、沈砂池を設ける測量設計業務委託料です。

※財源は、充当率65%の災害復旧債870万円を起債予定です。

農地・農業用施設の 災害復旧工事②

3300万円

蓑谷ため池において、令和2年7月豪雨で堆積した土砂浚渫の最中、新たに1万3000m³の土砂が流入したことによる令和4年度の災害復旧事業です。

※財源は、県の農地・農業用施設災害復旧事業費補

助金910万円、充当率100%の緊急浚渫推進事業債1900万円、充当率90%の災害復旧債440万円を起債予定です。

農地・農業用施設の 災害復旧工事③

3250万円

農地3地区(馬返、向田1、上堀田)、施設関係5地区(東牧良、向田2、向田3、上堀田、上山ノ口)、合計8地区の工事分です。

※財源は、県の農地・農業用施設災害復旧事業費補助金1692万1000円、農林施設災害復旧債1170万円、受益者分担金66万3000円を充当します。

林業用施設の災害復 旧工事 600万円

林道長谷場線の測量設計業務委託料です。

※財源は充当率65%の災害復旧債390万円を起債予定です。

河川の災害復旧費・ 応急修繕料

400万円

大谷川に堆積した土砂を撤去する応急修繕料です。

河川の災害復旧工事

1400万円

蓑谷川と牧良川の測量設計業務委託料です。

道路の災害復旧工事

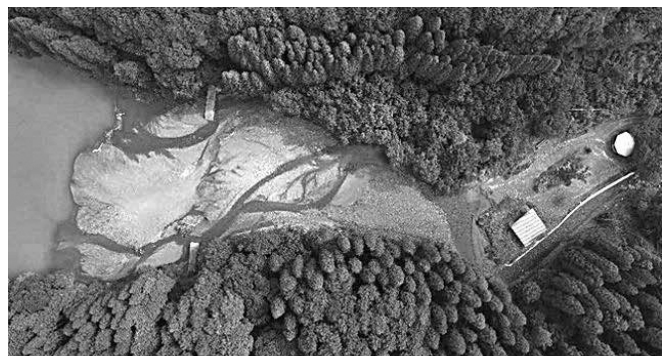
3180万円

町道猪鹿倉横谷線と町道永岡線の測量設計業務委託料です。

※財源は充当率100%の災害復旧債を起債予定です。



林道長谷場線の護岸崩壊(馬場)



蓑谷ため池の土砂流入(上猪)



町田川の土砂流入(瀬戸口)

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(重点交付金)

畜産業者の飼料価格高騰対策支援金

870万円

飼料価格高騰の影響を受けている畜産農家を支援します。

令和3年度の飼料価格の年間平均月額と、令和4年度の最高月額を比較して、上昇分の15%を、乳用牛・肥育牛・繁殖牛ごとに単価を設定して支援額を算出します。
畜産農家1軒当たりの上限額は100万円です。

ゆのまえくらし応援券の事業費

2054万8000円

「ゆのまえくらし応援券」発行に関する事業費です。町民1人当たり5000円分の券を交付します。

水道料金の補助を延長

469万4000円

水道料金の基本料金分の減免を2カ月間延長します。
※通算では、令和4年9月期(8月使用分)から令和5年2月期(1月使用分)まで。

国の電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業

緊急支援給付金

3044万9000円

住民税非課税世帯などに對し、1世帯当たり5万円を支給する関連経費です。

公共施設の整備

町営住宅解体工事

505万円

湯前郵便局の南側に位置する町営上牧原住宅3棟を、老朽化のため解体します。

小学校施設の修繕

157万3000円

体育館トイレの配管修繕と、運動場手洗い場給水管の修繕、2階教室空調機の修繕を行います。

条例改正

湯前町職員の定年等に関する条例など10条例を改廃

国家公務員法などの一部を改正する法律の制定により、国家公務員の定年は、令和5年度から段階的に引き上げられます。

これを受けて、地方公務員法の一部を改正する法律が、令和3年6月に公布され、地方公務員も同様の措置を講ずることになりました。

本町の職員の定年(現在60歳)も、令和5年4月から2年に1歳ずつ引き上げとなり、令和13年4月から65歳となります。

その他の議案

工事請負契約の締結

下町橋補修工事

9350万円

主な工事内容は、壁石の撤去と復元、中詰め剤の充填、輪石の補強、橋脚基礎部分の補強、表面防水工などです。
契約方法は指名競争入札、契約の相手方は(株)尾上(おがみ)建設です。
※補助率:65・45%

工事請負契約の変更

町道猪鹿倉横谷線災害復旧工事(第1工区)

工事請負契約の変更

契約の金額を、5596万2500円(税込)から今回6675万8217円(税込)に変更します。(1079万5717円の増額)
増額の主な要因は、法面の掘削、法枠の延長・面積の変更、モルタル吹付や車道部の舗装の追加などです。



明治39年竣工以来の大規模補修となる下町橋

町道牧良線（笹の平橋）復旧工事

1億7215万円

令和2年7月豪雨災害により被災した橋梁・道路・河川の復旧工事です。

主な工事内容は、河川の線形を変えスムーズな水の流れにするための河川工事です。橋梁の架け替えと町道の復旧も併せて行います。

契約方法は、指名競争入札、契約の相手方は、青木建設(株)湯前営業所です。

※補助率・99・6%

町道牧良線災害復旧工事（第5工区）

7980万5000円

令和2年7月豪雨災害に伴う道路復旧工事となります。

主な工事内容は、軽量盛り土工による町道復旧工事です。

契約方法は、指名競争入札、契約の相手方は(有)富山産業です。

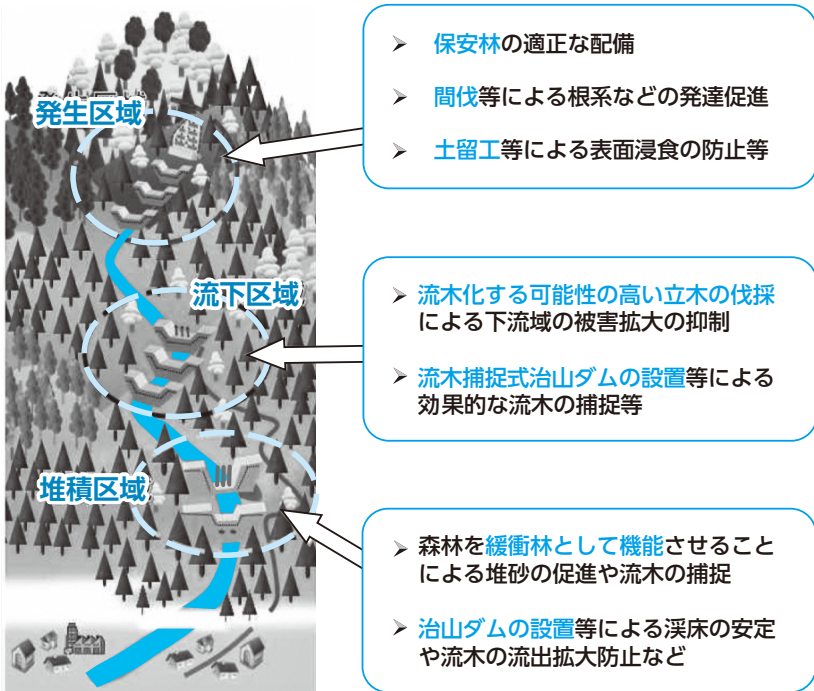
※補助率・99・6%

議員発議

豪雨災害等から国土を守る治山事業及び森林整備の強化を求める意見書

今回の意見書は、治山事業および森林整備事業を計画的に実施するための予算確保を強く要望するものです。近年、豪雨や台風による山

地災害や林道災害が、本町においても多数発生しています。町民の暮らしを守るためには、災害発生後の緊急的な復旧に加え、災害危険地を把握して治山施設を設置し、土砂や流木などの未然防止を図る予防的対策の強化が必要です。



図：林野庁HPより引用

議案審議の賛否一覧 [議案17件(10月~12月)]

議 案	吉田 精二	西 靖邦	遠坂 道太	椎葉 弘樹	森山 宏	黒木 龍次	味岡 恭	金子 光喜	山下 力	倉本 豊	審議結果 (賛成：反対)
令和4年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
湯前町職員の定年等に関する条例等の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
工事請負契約の変更(2事業)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
工事請負契約の締結(3事業)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)
上記以外の議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません）

4人が執行部の考えを質す

質問者(登壇順)	質問項目	ページ
椎葉 弘樹	①未利用の町有財産の利活用	11
西 靖邦	①「健康増進」のまちづくり	12
遠坂 道太	①町長の施策に関する自己評価	13
金子 光喜	①交通安全対策 ②今後の町政運営	14

特別企画

前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。

皆さまの視聴が議員のモチベーションにつながりますので、ぜひご覧ください。

議員	9月一般質問
椎葉 弘樹	44
黒木 龍次	36
遠坂 道太	22
金子 光喜	21

(令和5年1月16日時点のアクセス数)

一般質問のYouTubeライブ配信(生放送)を行っています。

一般質問は、IP告知端末放送(2チャンネル)とYouTube動画(生放送と録画)配信を行っています。なおYouTube動画は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末から視聴できます。

◎YouTube動画 (「湯前町オフィシャル」で検索)

YouTube



問 未利用の町有財産の利活用

答 財源を見つけて動かしたい

議員 B & G 体育館横の空きスペースの活用方法は、どのように考えているか。

目途や計画を立て、物事を動かしたい。

課長 平成8年に弓道場用地として購入して以降、事業検討はしているが、活用方法は決まっていない。

議員 杵つき精米所スペースの活用方法は、どのように考えているか。

課長 精米所の未稼働による

教育長 活用方法が決まらない理由に、財源と災害復旧の問題がある。

町長 トレーニングルームが狭いという意見もあり、有効活用できる複合施設や防災拠点などを考えている。財源の

主な影響は、「差別化を図った付加価値の高い米の販路や消費の拡大」「製品の開発や販売による農業振興」「農産物の集出荷施設としての活用」ができていないこと。

町長 休止状態が長く続いて



議員 椎葉 弘樹



質問の様子は
こちら

いるため、使用料の見直しや指定管理料(条例改正)などの対応を決めながら動かしたい。「杵つき米」「ぴかまる」「そば粉」など、ふるさと納税の返礼品や湯菜里へのお米の提供、精米所の東側部分を米倉庫として改築し、エアコンの設置や色彩選別機などの導入も考えられる。国道219号沿いで交通量が多いため、地理的に有利な運営も想像している。

議員 レールウイングの空きスペースの活用方法は、どのように考えているか。

課長 町長、副町長、財政担当課と関係各課で、利活用策の具体的な検討を行っている。その内容がまとまったら議会に説明したい。

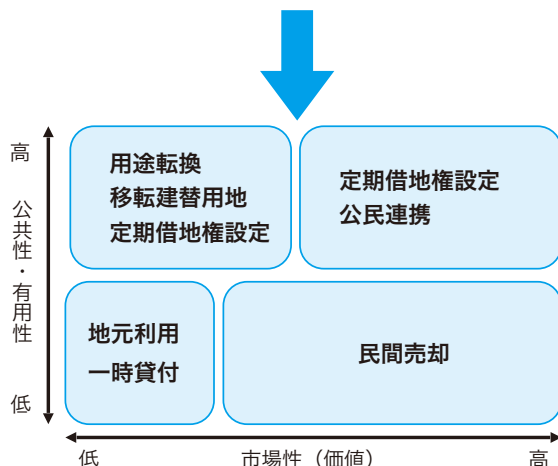
町長 現在のレールウイングは、床材が経年劣化しており、早急な改築が必要。この施設の活用は、天候に左右される課題もある。駅前再整備として、「全天候型」「まんがグッズ販売所」などの施設を想像している。この改修は、

	建物	土地
利用している	公共施設等総合管理計画	-
利用していない	この部分の方針がない!! (未利用の土地・建物の利活用)	

令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興のシンボルとして、本町から情報発信することで、施設の魅力を発揮した、より効果がある事業計画を想

像している。若者会議からの意見や県との連携により、くま川鉄道の全線開通(令和7年度予定)に間に合うよう、財源を見つけて動かしたい。

議員のつぶやき
今ある未利用財産の方向性がようやく示された。今後の人口減少や建物老朽化で生じる未利用財産の方針が課題。





西 靖邦 議員



質問の様子は
こちら

問 「健康増進」のまちづくり

答 『健康マイレージ制度』

掘り下げて検討

運用体制など、多くの検討課題や問題もある。まずは他の自治体での取り組みを調査したい。

町長 「健康マイレージ制度」は、大変健康づくりの一助になると考えている。担当課・関係各課において、掘り下げて検討したい。

議員 『歩きたくなる』まちづくりに向けて、町民が歩きたくなる仕掛けや仕組みづくりを構築する考えは。

課長 健康増進計画の中で、ライフステージに応じた健康づくりの取り組みを掲げている。「歩く」こと、運動量を増やすことも含め、さまざまな取り組みにより、医療費の抑

制と健康増進を図ることができると考えている。歩きやすい歩道の整備、緑・パブリックアートの配置、高齢者の歩道上の休憩場所設置という環境整備においては、計画的に歩道整備を進めている。歩道内に椅子やアートのなものを設置するのは困難だが、歩道に隣接した空地などがあれば利用ができる。難しいかと思うが、今後は十分配慮していきたい。歩道の埋め込み式照明は、必要に応じて考慮する。歩数・消費カロリーを明示している既存ウォーキングコース3ルートの継続的なPR、ウォーキングイベントの開催など、「歩く」きっかけづくりの推進を図りたい。



歩きたくなる
まちづくり

議員のつぶやき
健康的な体も「うれしい特典」もゲットできるなんて一石二鳥！真剣に取り組んでほしいなあ！



遠坂 道太 議員

問 町長の施策に関する 自己評価

答 町民の期待に応えるべく 政策や施策を実行



質問の様子は
こちら

議員 未来を託す子どもたちが輝くまちづくりの評価は。
町長 子育て世代の経済的負担の軽減を図ることで、学習環境の整備などを中心に、施策の取り組みを積極的に行うことができた。

議員 安全・安心に暮らすことが出来るまちづくりの評価は。
町長 健康のまちづくりの推進や、災害備蓄品の整備など、町民の安全・安心を確保した。

議員 基幹産業である農林漁業の持続的な発展の評価は。
町長 農業振興は、各種農業支援策、用水路・排水路の改修、直接支払制度などを継続して実施し、経営の安定を図ってきた。

議員 地域資源を活用したまちづくりの評価は。
町長 文化財の保全と継承は、適正な保存と継承をしていくため、御大師堂の全面改修に着手した。

議員 未来につながる健全な財政運営の評価は。
町長 総合計画に掲げている施策、計画した事業は、財政

用、経営持続化支援金など、この2年半重点的に対策を行った。

観光施策は、コロナ禍の影響で湯楽里の厳しい経営状況が続いているが、キャンプ場は多くの利用者があった。地場産品のブラッシュアップとして、尚絅大学との連携により新商品開発の支援、新品种の「びかまる」を使ったメニュー開発に取り組んできた。

の規律を守り、優先順位を決め、効率的な財政を図り、身の丈に合った歳出規模の確立のために不転換の決意を持ってきた。

一期4年を修復の時と捉え、町民の幸せを実現することが行政最大の宿命であると考え、皆さまの期待に応えるべく、政策や施策を実行してきた。



長谷町長 所信表明5つの柱



詳細は「議会だよりNo.27(特集)」

特集1 長谷新町長の所信表明

未来創造の施策を実行

基本方針

〇 町民の生活の質を向上させ、地域を活性化させる。〇 地域資源を活用し、持続可能なまちづくりを実現する。〇 安全・安心なまちづくりを実現する。〇 健康なまちづくりを実現する。〇 文化・芸術のまちづくりを実現する。〇 環境にやさしいまちづくりを実現する。〇 経済的に豊かなまちづくりを実現する。〇 社会福祉のまちづくりを実現する。〇 防災・減災のまちづくりを実現する。〇 国際交流のまちづくりを実現する。〇 子育て支援のまちづくりを実現する。〇 高齢者支援のまちづくりを実現する。〇 若者支援のまちづくりを実現する。〇 障がい者支援のまちづくりを実現する。〇 外国人住民のまちづくりを実現する。〇 防災・減災のまちづくりを実現する。〇 子育て支援のまちづくりを実現する。〇 高齢者支援のまちづくりを実現する。〇 若者支援のまちづくりを実現する。〇 障がい者支援のまちづくりを実現する。〇 外国人住民のまちづくりを実現する。

5つの柱

1. 子育て支援のまちづくり
2. 健康なまちづくり
3. 安全・安心なまちづくり
4. 地域資源を活用したまちづくり
5. 未来につながる健全な財政運営

議員のつぶやき

町長の施策を質問したが、もう少し思い切った取り組みが欲しかった4年間。



金子 光喜 議員



質問の様子は
こちら

問 町の交通安全対策は十分か

答 高齢者事故が増えており対策が必要

議員 職員の意識向上のため
にどのように取り組んでいる
か。

課長 道路交通法改正により、安全運転管理者に対して、運転手の酒気帯びの目視確認が義務付けられた。10月1日からのアルコール検知器による確認の義務化は先送りされたが、本町では実施している。現在のところ違反はない。

公用車は、当然、法定の車検・点検を実施している。加えて、町の自動車整備組合の方々と連携して、ボランティアによる年2回の全車点検も行っている。毎日の点検は、乗車する職員が乗車前後に行い、運行日誌に状況を記載している。車両のチェック体制は十分と考える。

安全運転講習会などの開催

は、新規採用職員と直近一年間で事故を起こした職員を対象に、熊本県町村会主催の安全運転講習会に参加させている。

町長 古いタイプのドライブレコーダーは、積極的に更新していきたい。また貨物車、積載車などが未整備なので早め導入を進めたい。

議員 町民の意識向上のため
にどのように取り組んでいる
か。



職員 アルコールチェックを行う

課長 県が実施している65歳以上が対象の「ドライブレコーダー」と「踏み間違い防止装置」の補助は、町のホームページで周知している。県に確認したところ、両方とも予算は残っているそうなので、積極的に利用を促したい。

問 今後の町政運営

答 与えられた業務を最後まで全うする

議員 就任からこれまでの総括と来期に向けての考えは。

町長 これまでの任期中、行政経験を活かして全力でまちづくりに向け注ぎしてきた。「心豊かで、活力があり、未来を創造するまちづくり」を掲げてスタートしたが、災害、コロナなど、山積した課題解決は道半ばと考える。町民の皆さまの信託をいただけるのであれば、引き続き町政を担わせていただきたい。

議員のつぶやき

交通安全の第一歩は「心がけ」。
時の公園交差点で街頭指導の駐在所・河津さんには感謝です。

全員協議会

10月24日、10月28日
11月28日、12月26日

主な協議事項

課題が多い中学校部活動の地域移行 移行検討委員会の設置を先送り

令和4年12月にスポーツ庁・文化庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示され、本町では移行検討委員会を設置する予定でしたが、制度などの未確定事項が多いため先送りしています。



スポーツ庁ガイドライン

湯前中学校部活動の状況

種目など	1年生	2年生	3年生	計	指導教職員数	外部指導者数	部活動指導員数
野球	3	6	4	13	2	1	0
テニス	4	6	6	16	2	2	0
陸上	12	6	10	28	2	1	0
柔道	0	0	2	2	1	1	0
吹奏楽	6	5	8	19	2	0	0
計	25	23	30	78	9	5	0
生徒数	31	25	37	93			
参加率 (%)	81	92	81	84			

湯前中学校部活動調査委員会

開催回数 1回(令和4年11月10日：第1回)

[組織]

- ・ 総合型地域スポーツクラブ「湯前さわやかクラブ『だんだん』」代表者
- ・ 中学校部活動保護者代表 5人、外部指導者 4人
- ・ 中学校長、部活動担当教職員 2人

今後のスケジュール

- 移行検討委員会の設置
- 学校部活動に関する方針などの策定
- 近隣町村との広域連携の検討

その他の協議項目

- 台風14号被害関連
- 移動手段に関するアンケート結果
- 下水道使用料の従量制への移行
- 湯楽里の経営状況
- レールウイングの再整備 ほか

総務厚生文教常任委員会

11月14日、12月12日

次の所管事務を調査しました。

- ◎ 障がい者施策
- ◎ 特別支援教育

委員長	椎葉 弘樹
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、黒木 龍次、西 靖邦

障がい者に優しい町を目指して

本町の現状を調査

「湯前町第5期障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」は、令和3年3月に改定され、3年ごとに計画を見直しながら当期を実行しています。計画の期間は、令和3～5年度です。

(注) 以下の表中の人数は、年度途中で調査した参考値です。

障害者手帳の所持者数

手帳	平成25年度	平成30年度	令和4年度
身体障害者手帳	302人	277人	236人
精神保健福祉手帳	19人	23人	26人
療育手帳	61人	56人	59人

障害福祉サービスの利用者数

(対象者：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等患者)

サービス	平成30年度	令和4年度
居宅介護	3人	2人
短期入所	5人	4人
施設入所支援	9人	8人
療養介護	2人	3人
生活介護	12人	15人
就労継続支援A型	8人	9人
就労継続支援B型	19人	20人
共同生活援助	8人	14人
計画相談支援	44人	47人

※扶助費は平成30年度比で年間約2800万円増額

障害児通所支援の利用者数

サービス	平成30年度	令和4年度
児童発達支援	9人	2人
放課後等デイサービス	18人	18人
保育所等訪問支援	2人	0人
障害児相談支援	26人	20人

※扶助費は平成30年度比で年間約350万円増額

教えて ゆっくん

就労継続支援って何？

一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供し、知識や能力の向上のための訓練を行うのだ。雇用型がA型、非雇用型がB型だよ。



企画経済建設常任委員会

11月18日、12月12日

次の所管事務を調査しました。

- ◎ 今後の人・農地プラン
- ◎ 下町橋および藁谷ため池土砂搬出状況の視察

委員長	遠坂 道太
副委員長	味岡 恭
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

今後の人・農地プランを協議

農業委員会との意見交換会

11月18日に農業委員会と企画経済建設常任委員会の意見交換会を行い、今後の人・農地プランを協議しました。現行の「人・農地プラン」は、「地域計画」に名称を変更して、令和6年度までに地域計画目標値を策定します。今後の課題は、今後10年間で農地を手放したい面積247haの受け手の確保です。



意見交換会の様子

議会改革調査特別委員会

「湯前町議会議員の定数削減についての要望書」への対応

「明日の湯前町を考える会」から議長あてに要望

11月25日に代表の森崎 勝さんより、倉本議長へ要望書が提出されたことを受けて、12月26日開催の議会改革調査特別委員会で対応を協議しました。

「湯前町議会議員の定数削減に向けた協議を行うこと」という要望内容の要旨を受けて、議会として十分に協議して答えを出すことを確認し、早めの対応に向けて、参考資料の準備や協議の日程を決めました。



議員派遣

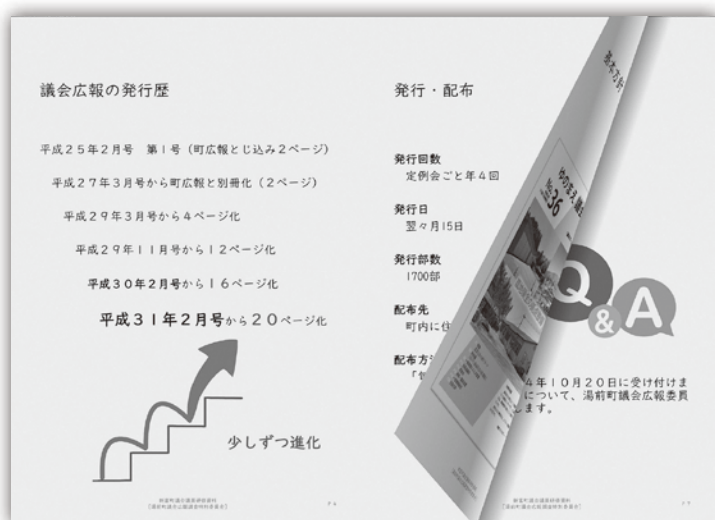
本町議会初の行政視察研修の受け入れ

議会だよりの行政視察研修

令和4年11月9日(水) 湯前町役場洋会議室

出席者 宮崎県新富町議会広報特別委員会(6名)+事務局(2名)

湯前町議会広報調査特別委員会(6名)+事務局(2名)



研修の様子



新富町議会の皆さまと
集合写真



神山町のまちづくりを学ぶ

令和4年度熊本県町村議会議員研修会

令和4年10月4日(火) 熊本県立劇場コンサートホール
 講師 大南 信也 氏 [認定NPO法人グリーンバレー理事]
 演題 「地方創生とまちづくり」

研修資料や議員報告書は、議会図書室にありますので、住民の皆さまもご覧いただけます！

神山町(徳島県)の地域活性化の段階

- ・NPOグリーンバレーの設立
- ・ウェブサイト「イン神山」の構築
- ・サテライトオフィスの展開
- ・ワーク・イン・レジデンス※を活用した商店街再生
 ※：町の将来にとって必要な働き手や企業者の誘致
- ・クリエイティブな人材の集積
- ・新たなスモールビジネス(異業種)の展開
- ・地方創生総合戦略事業との連携
- ・「神山まるごと高専」プロジェクトの創設



NPOグリーンバレーHP



研修のポイント

- ◎人に焦点をあてたまちづくり
- ◎まちづくりの明確なビジョンとミッション
- ◎地域内経済循環による自立的発展
- ◎地域に「可能性が感じられる状況」をつくる
- ◎若者人口の把握
- ◎ふるさと納税の活用(24億円)

本町議会だより3期連続の受賞を逃す

令和4年度熊本県町村議会広報研修会

令和4年11月24日(木) グランメッセ熊本

各賞	受賞した町
特選	大津町
入選	あさぎり町 津奈木町
特別賞	小国町 苓北町

☆研修で得た改善点は、今回の議会だよりに反映しています。



受賞した町によるパネルディスカッション

住民の 声



年4回にわたり、特集ページに関するテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ 子ども議会に参加して①



湯前中学校3年
山浦 拓斗さん

○参加しての感想は

子ども議会に参加して、湯前町の良いところと改善点を中学生の視点から見つけることができました。また、議会の流れや雰囲気を実際に体験し、どのように行われているかを知ることができました。

○町執行部の答弁はどうでしたか

私たちの質問に対して、一つ一つ丁寧に答えてくださり、理解力のない私でも内容が頭にスーッと入ってきました。

○議会の印象は変わりましたか

もともと議会は寝ている人が何人かいるようなイメージでした。しかし、議会では皆さんが湯前町をより良くしようと取り組まれており、こんなに緊張感があるものなのだと驚きました。

テーマ 子ども議会に参加して②



湯前中学校3年
蓑田 愛唯さん

○参加しての感想は

私は子ども議会に参加して、高齢者の声は多く届いていたが、若者の声はあまり届いていないことがわかりました。湯前町がもっと良くなるためには、若者が積極的に意見を出すことが大切だと思いました。

○町執行部の答弁はどうでしたか

一つの提言に対して、いろんな方向から細かく簡単に答弁されていて分かりやすかったです。しかし、女性からの意見をもっと尊重して考えてほしいと思いました。

○議会の印象は変わりましたか

今までは、意見を投げかけるのがとても難しいという印象でしたが、議会に参加して一番早く自分の意見を届けることができるという印象に変わりました。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。☎0966-43-4111(内線261)

編集後記

▶令和4年度は、新型コロナウイルスによる国民生活や経済への影響が続く中、ロシアによるウクライナ侵略などの影響により、原油や穀物の価格の上昇において、生活に不安が生じています。

▶9月の台風14号は、本町にも大きな爪痕(つめあと)を残しました。農作物は、令和2年7月豪雨と変わらぬ被害がありました。

▶漫画のまちの一大イベント「ゆのまえ漫画フェスタ」が、3年ぶりに開催されました。新型コロナウイルスの終わりが見えないまま新年を迎えています。今後も町民の皆さま、感染対策をお忘れなくお願いします。(遠坂)



◆議会広報調査特別委員会

私たちが編集しました。

委員長 森山 宏 副委員長 西 靖邦
委員 椎葉 弘樹 遠坂 道太 吉田 精二

